



# 一生懸命

《学校教育目標》

「志を持ち 道を拓く生徒」

令和6年度  
第18号(2月12日)

文責 校長 今村 洋仁

<http://www.midai.m-alps.ed.jp/> 白根御勅使中学校ホームページにも毎月掲載します。

## 1・2年生のPTA授業参観・学年部会、ありがとうございました

1・2年生による今年度最後の授業参観が1月末に行われました。1年生は、2年生になってから行われる「県内めぐり」の事前学習を行っていますが、県内で自分が興味を持った史跡・寺社仏閣・美術館や博物館などの様々な施設を詳しく調べ、その魅力を発表し合いました。みんなそれぞれ調べたものが多種多様なため、とても関心を持って聞き入っていました。2年生は、3年生になってから行く修学旅行の見学地である広島・京都・奈良のそれぞれについて、事前学習をしています。特に自主見学をする京都の寺社仏閣について興味を持ったものを詳しく調べ、発表し合っていました。どの発表も実際に自分が行ってみたいくなるような発表で、調べ学習の成果が出ていました。1年生も2年生も来年度に向け、順調に取組が進んでいて素晴らしいと思いました。来年度がとても楽しみです。授業参観後は、保護者の皆さんに残っていただき、1学年部会・2学年部会に参加していただきました。生徒たちの今年度の成長ぶりと様々な取組の成果や課題についての説明が行われ、最後に来年度になってすぐ行われる行事(1年生は県内めぐり、2年生は修学旅行)についての提案と今年度の会計報告が行われました。保護者の皆さん、ご協力本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



1年生も2年生も来年度に向け、順調に取組が進んでいて素晴らしいと思いました。来年度がとても楽しみです。授業参観後は、保護者の皆さんに残っていただき、1学年部会・2学年部会に参加していただきました。生徒たちの今年度の成長ぶりと様々な取組の成果や課題についての説明が行われ、最後に来年度になってすぐ行われる行事(1年生は県内めぐり、2年生は修学旅行)についての提案と今年度の会計報告が行われました。保護者の皆さん、ご協力本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

## 公立高校前期入試と私立高校推薦・一般入試が行われました

3年生は1月になると私立高校の推薦・一般入試が始まり、その後、公立高校の前期入試も行われました。私立高校の推薦入試や公立高校の前期入試は、面接の準備もしなければなりません。3年生の受験希望の生徒たちは2学期末から入試で実施される面接に向け、自分の思いや考えを整理し、どんな質問にも即答できるように練習を重ねてきました。面接練習を始めた頃と入試直前の模擬面接では、見違えるほどすばらしい返答ができていて、本当に日々努力をしていることが感じられました。面接の本番では、緊張感の中、生徒たちそれぞれが持っている良さが十分に発揮されたことと思います。また、公立高校の前期入試には、面接に加え、特色適性検査があり、テーマを与えられて書く作文だけではなく、グラフを見て分析したり、図を見て考えたり、社会問題についての問いに答えたりと、質問は多種多様で、その対策のたいへんさを感じました。公立高校前期入試と私立高校推薦・一般入試を終えた生徒の皆さん、長い間の取組、本当にお疲れ様でした。



## 3年生が最後の小笠原流礼法を学びました

白根御勅使中学校ではすべての学年が道徳の授業の中で年間2回、小笠原流礼法を学んでいます。講師には、小笠原流礼法の師範である網倉和美先生をお迎えし、面接試験や卒業式の卒業証書授与に向けて、礼の仕方や入退室の仕方を学びました。礼も会釈から最敬礼まで礼をする体の角度が何種類もあり、入退室も下手・上手（下座・上座）など注意しなければならない点がたくさんあります。緊張した中で行うので最初はなかなかうまくいきませんでした。が何度も練習しているうちに、授業の終わりには全員がとてもきれいにできるようになりました。礼法は相手のことを思う気持ちが所作となって表われ、それがきれいな動作になるということをお教えいただきました。これからの人生の中でこれまで学んだことが生かせるといいですね。3年生にとって最後の小笠原流礼法の授業となりましたが本当に集中して一生懸命取り組めたと思います。



## 文部科学省教育課程実践検証協力校として1年生社会科の研究授業が行われました

1月末に、全国で2校指定の文部科学省教育課程実践検証協力校として1年3組で社会科の研究授業が行われました。その研究会には文部科学省より小関祐之教育課程社会教科調査官と高校教育課・義務教育課の指導主事の皆様が参加し指導助言をしていただきました。社会の授業は地理分野で、『どのような地球的課題がどこで見られるだろう』について自分の追究課題を設定し予想することができる」という目標のもと、授業が進められました。生徒たちは、クロームブックに、自分の学習課題と自分の予想を記入し、



個人の発表を通してクラス全体で様々な意見を共有し合いました。世界の様々な地域で起きている課題を意識しながら、自分たちの地域にも目を向け、それをもとに考えていける人でありたいですね。1年3組の皆さん、授業への集中力は見事でした。お疲れ様でした。

## 小中一貫教育推進協議会、ありがとうございました

白根御勅使中学校区の小中一貫教育の1年間の取組に対して指導助言をいただき、小中一貫教育推進協議会が行われました。小中一貫教育推進協議会の構成メンバーは、地域の有識者の方々やPTA役員の方々をお願いしています。今年度の様々な活動の様子や小中一貫校としての取組に対して、ご意見・ご質問・ご感想等をいただきました。小中一貫教育としての小中学校の縦のつながりに加え、中学校内での縦のつながりも意識しながら、活動の活発化を図ってきました。推進協議会の中ではたくさんの指導助言をいただき、とても有意義な会となりました。来年度からこの小中一貫教育推進協議会は御勅使地区学校運営協議会となり、コミュニティスクールの効果的な運営に向けて、小中学校間の連携と地域との連携をより一層強化し、さらに充実した教育活動につながるように、取組を行って参りますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

